

生活と政治	( )組	氏
	( )番	名

やすひろさんたちのクラスでは、税金の働きについて学習し、その大切さを学びました。そこで学習のまとめとして、宮崎県の税金の使われ方について、グループで話し合うことにしました。

(1) 公共的な事業には多くの税金が使われています。次のア～エのうち、公共的な事業をすべて選び、記号を書き入れてください。もし、選んだ記号がなかったとしたら、どの記号も書き入れず、空欄のままにしてください。  
**国や県、市町村が行う仕事は公共的な事業となります。学校やごみ収集、警察の役割を考えて、「困ること」を書きましょう。**



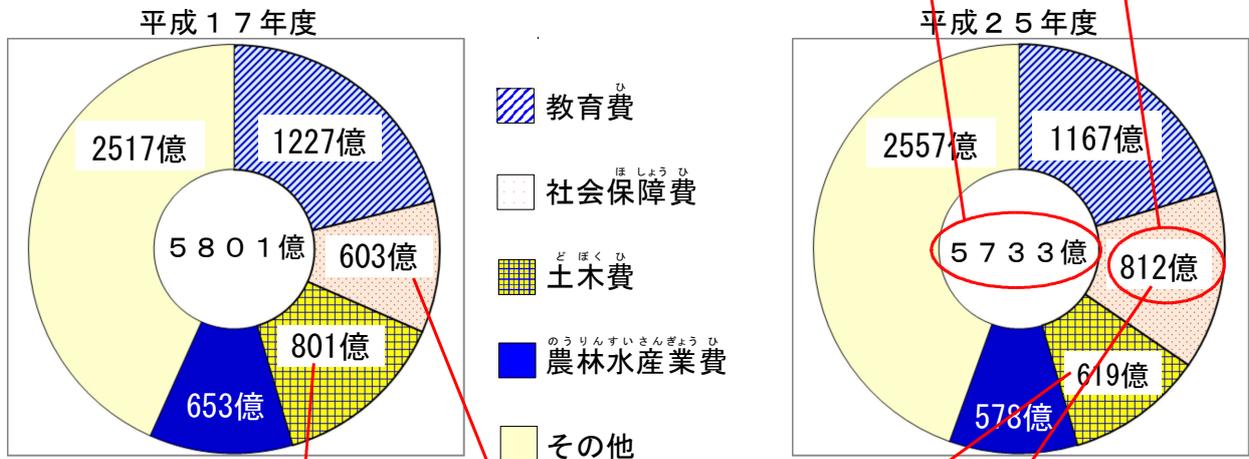
公共的な事業	記号
	ア、ウ、エ

選んだ記号 ( )	困ること
→	ア：教科書がもらえず、先生もいないので、授業ができない。 ウ：ごみが回収されず、まちにごみがあふれる。 エ：事件が起きてても警察官がいなくて治安が悪くなる。

やすひろさんは、資料1を見ながら、グループの話し合いをしました。

**全体の歳出は減っているのに、社会保障費は増えています。**

【資料1 宮崎県の歳出（支出）】 単位：円



【会話1】

やすひろさん： 教育費が60億円減っているね。授業でパソコンなどが使われているから増えていると思ったのだけれど。  
 まさのりさん： ( ① ) 費や農林水産業費も減っているよ。予算がないから新しい建物は建てられないという話を聞いたことがあるよ。  
 しげのりさん： お年寄りの年金や福祉などに使われる社会保障費が、約 ( ② ) 億円増えているけれど、どうしてかなあ。

(2) 上の会話1の ( ① )、( ② ) に当てはまる言葉や数字を書きましょう。

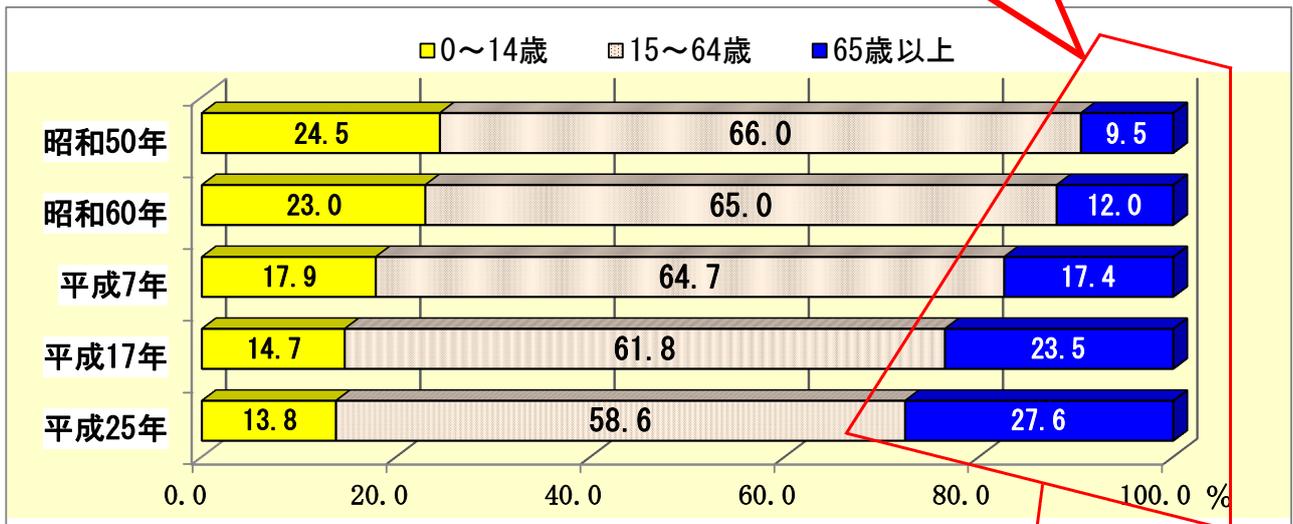
①	土木 費	②	200 億円
---	------	---	--------

(4) の参考にしましょう。

やすひろさんたちのグループは、先生からわたされた次の資料2をもとに、さらに話し合いを進めていきました。

年々増えていることが分かります。

【資料2 宮崎県の年齢別人口の割合の推移】



【会話2】

やすひろさん： 資料1で社会保障費しゃかいほしょうひが増えた理由について、資料2から予想されることはないかなあ。

しげのりさん： ぼくは、( ③ )から、社会保障費が増えたんだと思うよ。

まさのりさん： ぼくも同じ意見だよ。ところで、資料1の平成17年度と25年度を比べると歳出さいしゅつ(支出)ししゅつの合計が減っているよ。ということは、歳入さいにゅう(収入)ししゅうにゅうも減っているということなんだよね。

よしのぶさん： 歳入の多くは、みんなが納める税金でまかなわれているので、税金を一人一人がしっかりと納めることが大切だね。

(3) 上の会話2の下線部について説明した次のア～ウのうち、正しくないものを1つ選び、記号で書きましょう。

- ア 買い物をした時にはらう消費税が、平成26年4月から8%に上がった。
- イ 子どもは働いていないので、税金を納めなくてもよい。
- ウ 日本国憲法では、国民の義務の一つとして「税金を納める義務」を定めている。

例えば消費税は納めています。

記号 イ

(4) 会話1の内容が参考になります。 しげのりさんの発言内容について、会話1の下線部や資料2を参考に説明しましょう。

社会保障費とは「お年寄りの年金や福祉などに使われる」であるが、お年寄りの世代である65歳以上の人口が年々増えてきている